

## 諦めたら終わり

### 【「諦めない」勉強や部活動など頑張っている子どもたちに贈りたい言葉】

しばらく前に「SLAM DUNK(スラムダンク)」という、バスケットボールに取り組む高校生を描いた漫画がありました。この高校生を指導する監督に安西先生という人が登場します。ある時、安西先生は選手にこう語ります。

「最後まで希望をすてちゃいかん。あきらめたらそこで試合終了だよ」

安西先生のいう「試合終了」とはどういう意味でしょうか。

これもまたバスケットボールに青春をかける高校生を扱った「黒子のバスケ」という漫画があります。主人公黒子テツヤはこんなことを言いました。

「まだ終わってません。可能性がゼロになるとすれば、それはあきらめたときです。どんなに無意味と思われても、自分からゼロにするのだけは嫌なんです。だから、あきらめるのだけは絶対嫌だ」

黒子テツヤは、あきらめるということは「自分から可能性をゼロにすることだ」と言っています。この可能性をゼロにすることを、安西先生は「試合終了」だといっているのです。

つまり、あきらめるということは、自分からできない状況にすること、自分からギブアップすることに他ならないのです。

勉強を頑張ったのに成績が上がらない、誰かと仲良くしようとしたのにうまくいかない、練習を頑張っているのにできるようにならない、世の中うまくいかないことばかりです。しかし、安西先生や黒子テツヤのいうように、あきらめたらうまくいくチャンスを自分で終わらせることになります。

さて、今学期私が皆さんに期待するのは「あきらめない」と言うことです。

「あの人はあきらめが悪い」「いくらやってもできないよ」というようなことをいう人がいるかも知れませんが、そういう人には言わせておけばいい。でも、あきらめたら自分でゼロにしてしまう、自分から終了させてしまうことになります。